

自衛官誕生！ 地域の暮らしを守ると 力強く

2月24日に大山町自衛隊入隊予定者激励会が大山町役場で行われました。

今春入隊するのは4人で、陸上自衛隊が井上威吹さん、中川太陽さん、山崎明生さん、航空自衛隊が舩越基さんです。

激励会では、町長が「国民が安心して生活できるのは、自衛官の活躍があつてこそ。厳しい訓練に耐え、立派な自衛官になつてください」と激励の挨拶を述べました。



▲左から井上威吹さん、中川太陽さん、舩越基さん、山崎明生さん

地方創生事業へ活用を 寄付ありがとうございました

町の観光施策による地方創生事業に対し、アウトドアスポーツブランド「モンベル」グループの株式会社ベルカディア様から「企業版ふるさと納税」として500万円の寄付をいただきました。

3月1日に贈呈式が行われ、株式会社ベルカディアの辰野勇代表取締役は「若いころ大山で登山技術の研鑽を行った。街から近い豪雪山であり、弓ヶ浜を望む稀有なロケーションなど多くの魅力がある。第2のふるさとだと思つている大山町のアウトドア観光施策に協力したい」と話されました。寄付金は大山林間常設マウンテンバイクコース整備等に活用します。



▲オンラインで行われた贈呈式

名和中学校の新入生に 反射タスキを贈呈

2月17日に、琴浦大山交通安全協会名和支部から、令和4年度新入生へ、反射タスキを贈呈しました。

例年は、中学校交通安全委員へ渡していましたが、今回はコロナ感染予防のため、清郷支部長から賀川校長に贈呈し、生徒の交通安全について、安協名和支部も引き続き指導していきたいと伝えました。中学校交通安全委員は交通安全に務めるとのことでした。

これからも安協名和支部では、子どもや高齢者の方が交通事故に遭わないよう活動していきます。



▶清郷支部長（右）から反射タスキを受け取る賀川校長（左）

江戸時代中期から約280年 続く管粥神事が行われました

2月15日、松河原の逢坂八幡神社で、今年の農水産物の出来を占う管粥神事が行われました。この神事は、本殿横にしめ縄を張り、その中心で鍋の水を沸騰させ、そこに農作物の名が刻してある24本の竹筒と米を入れ煮詰めます。その後、竹筒を割り、筒の中に詰まった粥の量でその年の農水産物の出来を判定するものです。今年も、全般を占う「大年」が九分、農水産物23品目中、半分以上が九分から十分となり期待の持てる年になりました。遠藤稔総代表は、「昨年にも続き今年もいい結果が出て希望が持てる」と話されました。



▲竹筒を割り判定する太田禰宜（左）と結果を記入する遠藤総代表（右）